

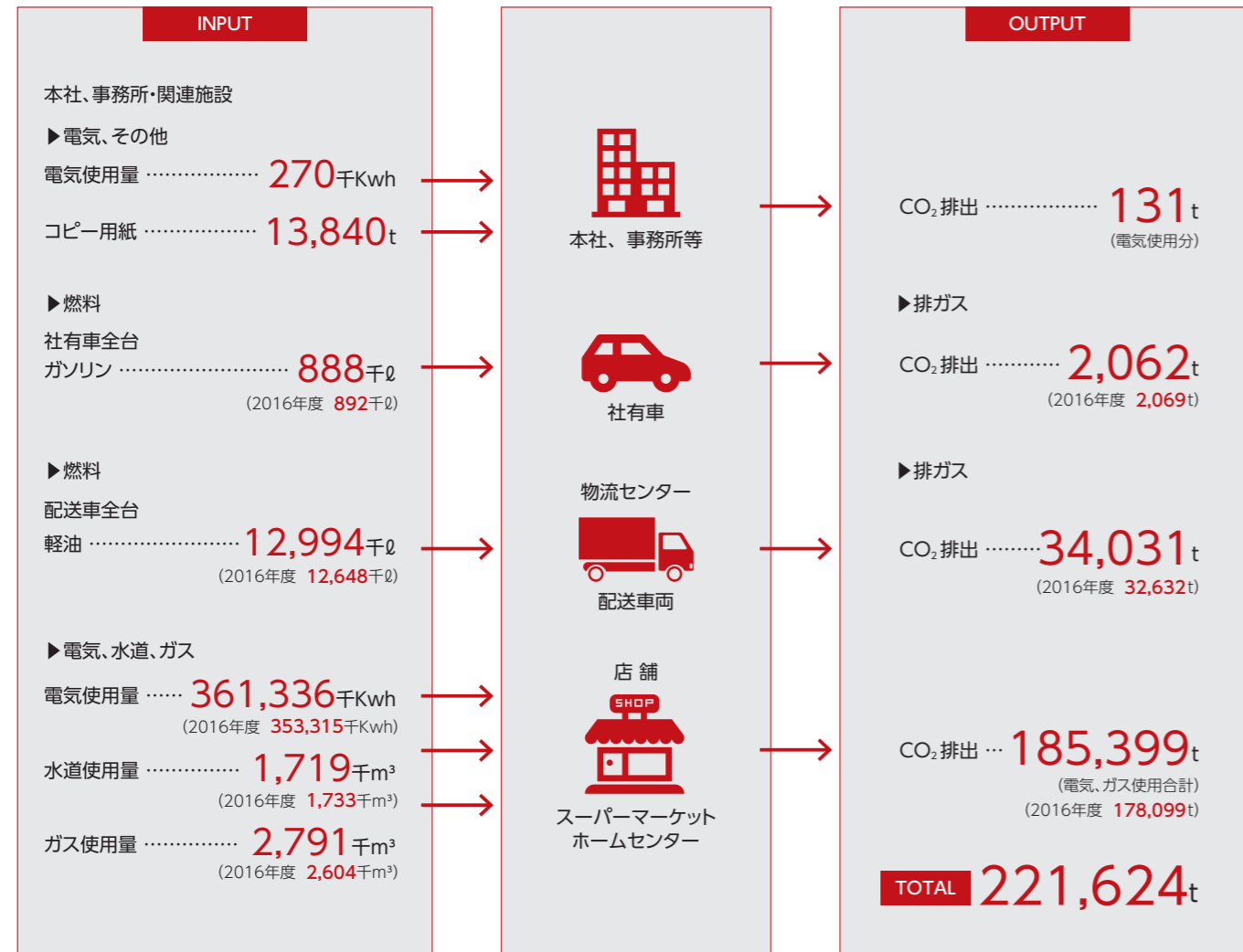
環境方針

当社は事業活動による環境負荷の低減を重要な課題であると認識し、その達成のために取り組み課題を掲げ、地域社会と共に、これに挑戦します。

取り組み課題

1. 温室効果ガスの排出抑制
2. 食品廃棄物の削減
3. リサイクルの推進

マテリアルフロー



注：(株)パローホールディングス、(株)コアサポート、(株)パロー、(株)ホームセンターパローを対象に算出。
 配送車燃料については、中部興産(株)の保有並びに庸車による配送車両全台を対象に算出。
 本社、事務所・関連施設の電気使用量・コピー用紙のインプットについては、2017年度より算出対象を変更。

活動ハイライト

当年度の主な管理項目の実績値を、次年度以降のパフォーマンス指標の基準値とします。今後も更なる取り組みを推進し、環境に、社会に、そしてお客様の生活により貢献できるよう努めてまいります。

環境パフォーマンス

管理項目	具体的な取り組み	2016年度実績	2017年度目標	2017年度実績	評価	結果	2018年度目標
温室効果ガスの排出抑制	電力消費量の削減	502.3 [kWh/m]*	—	495.0 [kWh/m]	○	エネルギーマネジメントシステムを一部店舗に導入。引き続き、店舗での適正な空調・冷凍機管理を行います。	494.0 [kWh/m]
	省エネルギー運転	前年度比 ・走行距離…119% ・燃料使用量…124% ・燃費 …… 96%	燃費向上 前年度比100%	前年度比 ・走行距離 … 119% ・燃料使用量 … 124% ・燃費 …… 100%	○	出店に伴い、走行距離・燃料使用量共に増加しましたが、燃費を上げることができました。引き続き、省エネ運転の教育を行います。	燃費確保 前年度比100%
	特定フロン排出抑制	—	—	実施店舗…2店舗	—	引き続き入替、定期点検を実施します。	実施店舗…60店舗
再生可能エネルギーの創出	自家発電への取り組み推進	—	—	発電量計 289,108kWh (2017年10月～2018年3月) 実施拠点…5箇所	—	2017年10月より順次太陽光パネルを設置。実施店舗を順次増やしてまいります。	実施拠点…15箇所
食品廃棄物の削減	食品廃棄物の発生抑制	62.5 [kg/百万円]**	53.0 [kg/百万円]	59.0 [kg/百万円]	×	目標には届かなかったものの、食品廃棄物の発生は、昨年の94%まで抑制できました。引き続き計画生産等を強化し、廃棄物量を減らしてまいります。	58 [kg/百万円] 前年度比99%
	食品残渣リサイクル化の推進	・廃棄商品の削減 ・リサイクル実施拠点の拡大 ・リサイクル対象商品の拡大	・リサイクル率 52.5% ・実施店舗…238店 (前年度比 106%)	実施店舗…240店 (前年度比 101%)	・リサイクル率 53.5% ・実施店舗…242店 (前年度比 101%)	○	実施拠点の拡大および処理機導入によりリサイクル化率が向上しました。
廃棄物の削減	レジ袋の辞退率の向上	・レジ袋の有料化 ・マイバッグキャンペーンの展開 ・ノーレジ袋デーの展開	レジ袋辞退率 85.7% (株)パロー全店	レジ袋辞退率 87% (株)パロー全店	×	レジ袋有料化店舗は220店舗から232店舗と増加。レジ袋削減はお客様とともに進めてまいります。	レジ袋辞退率 86%(全店)
リサイクルの推進	古紙リサイクル化の推進	・古紙リサイクル店舗…87店舗 (前年度比129%) ・リサイクル量 98,105Kg (前年度比187%)	・古紙リサイクル店舗…100店 (前年度比114%) ・リサイクル量 111,800Kg (前年度比114%)	・古紙リサイクル店舗…121店 (前年度比139%) ・リサイクル量 364,620Kg (前年度比371%)	○	実施店舗を拡大しました。今後も分別の徹底を行うとともに、実施店舗を拡大してまいります。	・古紙リサイクル店舗…127店 (前年度比104%) ・リサイクル量 380,000Kg (前年度比104%)
	容器・包装リサイクル等の推進	・リサイクルボックスの増設 ・リサイクル可能な対象品の拡大	リサイクルボックス設置店 ・牛乳…235店 ・アルミ缶、スチール缶…249店 ・トレイ…229店 ・ペットボトル…219店	リサイクルボックス設置店の拡大	リサイクルボックス設置店 ・牛乳…243店 ・アルミ缶、スチール缶…255店 ・トレイ…238店 ・ペットボトル…222店	○	実施拠点の拡大と分別に努めました。実施拠点を増やしてまいります。

注：* 店舗売場面積における電力使用量の割合(原単位) ** (株)パロー売上高における食品廃棄物発生量の割合(原単位)

いのちの森づくり

植樹前の状況(2017年7月)



2018年3月現在の状況



2012年7月、岐阜県可児市の可児物流センター敷地内において、植物学者宮脇昭氏ご指導のもと、地域の皆様、お取引先の皆様、パローグループ従業員の約3,000名が集まり、約30,000本を植樹しました。これは、「希少種の保全とその土地本来の森の再生」をコンセプトとした『いのちの森づくり』であり、子どもたちや地球の未来に向けた環境保全・整備活動の一環です。これから千年以上続く「本物の森」を目指しております。